

令和元年度 事業報告

(2019年4月1日から2020年3月31日)

I 事業の概要

当財団は、愛媛大学医学部医学科生に対して、修学に必要な資金の貸与により支援・助成し、愛媛県南予地域の医療を担う医師を確保することにより、同地域の医療の充実および万一の原子力災害に備えた医療体制の整備に寄与することを目的に事業を実施している。

II 事業の状況

1. 奨学生の決定および支援

(1) 奨学生の決定および奨学金の貸与

令和元年度の奨学生について、2月21日から4月20日の間で募集した結果、3名の応募があり3名を奨学生に決定した。その後、「奨学金貸与契約」を締結し、奨学金は2ヶ月分まとめて偶数月の20日に貸与した。

(2) 奨学生への支援および懇談

地域医療を担う医師を目指す奨学生に、早い段階から地域医療の実情に触れ実感してもらうことを目的に、8月29日、市立八幡浜総合病院の見学および懇談を実施した。また、奨学生の意識を高めるとともに、当財団奨学金の趣旨を十分理解し、修学に有効に活用してもらうことを目的に、5月14日および2月21日に懇談を実施した。

2. 広報・PR活動

(1) 訪問による広報・PR活動

南予地域の自治体や指定医療機関、県内の主要な高等学校や学習塾、八西地区の金融機関やスーパーマーケットなどを訪問し、ポスター掲示やリーフレット備付など、協力を依頼した。

(2) ホームページや広報誌を活用した広報・PR活動

財団ホームページの随時改修や四国電力㈱の広報誌「ライト&ライフ」や「伊方だより」へ掲載を依頼した。

以上